



BCJ-審査証明-189

## 建設技術審査証明書 (建築技術)

技術名称：外壁複合改修構工法  
「ネットバリヤー工法 P1」

標記技術の内容について依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に基づき証明するものである。

### (開発の趣旨)

今後需要の増加が見込まれる既存建築物の外壁改修工事において、仕上げ層の剥落に対する安全性を確実に担保する改修構工法の開発が望まれている。そこで、本開発では、鉄筋コンクリート系建築物の外壁改修工事の際、既存外壁仕上げ層（湿式工法のタイル仕上げやモルタル仕上げ）を存置したまま、ピンとネットを複合して用いることにより、ピンによる仕上げ層の剥落防止と、ネット繊維による既存仕上げの改修層の補強効果とにより、安全性を確保できる改修構工法の開発を目指す。また、既存仕上げ層を撤去しないことにより、工事に伴う廃棄物の量を低減でき、環境保全に資するものとする。

### (開発の目標)

- (1) 建物高さ 45m 以下の外壁に作用する風圧力、地震力に対して、既存仕上材及び複合改修層の剥落を防止すること。
- (2) 既存仕上材と複合改修層の接着力を  $0.4\text{N}/\text{mm}^2$  以上確保し、複合改修層による既存仕上材の補強効果により剥落を防止すること。
- (3) 建物外壁に作用する熱冷繰返しに対して、既存仕上材及び複合改修層の剥落を防止すること。
- (4) 既存の仕上材を撤去しない為、振動・騒音及び廃材の発生を抑制し、一材化材料を使用するため廃材が低減されること。
- (5) 標準施工マニュアルを定め、専門技術者による責任施工体制を確立すること。

一般財団法人日本建築センターの建設技術審査証明事業（建築技術）業務規程及び約款に基づき、依頼のあった外壁複合改修構工法「ネットバリヤー工法 P1」の技術内容について下記のとおり証明する。

2011 年 7 月 25 日



建設技術審査証明協議会会員

一般財団法人 **日本建築センター**  
The Building Center of Japan

理事長

松野



記

### 1. 審査証明結果

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 建物高さ 45m 以下の外壁に作用する風圧力、地震力に対して、既存仕上材及び複合改修層の剥落を防止することができる。と判断される。
- (2) 既存仕上材と複合改修層の接着力を  $0.4\text{N}/\text{mm}^2$  以上確保し、複合改修層による既存仕上材の補強効果により剥落を防止することができる。と判断される。
- (3) 建物外壁に作用する熱冷繰返しに対して、既存仕上材及び改修層の剥落を防止することができる。と判断される。
- (4) 既存の仕上材を撤去しない為、振動・騒音及び廃材の発生を抑制し、一材化材料を使用するため廃材が低減される。と判断される。
- (5) 標準施工マニュアルを定め、専門技術者による責任施工体制を確立している。と判断される。

### 2. 審査証明の前提

提出された資料には事実と反する記載がないものとする。

### 3. 審査証明の範囲

審査証明は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発の目標に対して設定された確認方法により確認した範囲とする。

### 4. 審査証明の詳細 (別添)

### 5. 審査証明の有効期限 2016 年 7 月 24 日

### 6. 審査証明の依頼者

株式会社 リノテック 住所 愛知県名古屋市中千種区新西 2-3-6